



京都ノートルダム女子大学
Kyoto Notre Dame University

公開講座2017

〈春の講演会〉

講師

星野正道 神父

(白百合女子大学教授・東京教区司祭)



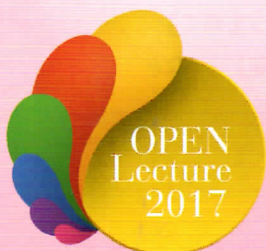
おはなしとピアノ演奏を通して

ピアニストでもある神父さまの
音楽と癒しのメッセージは
私たちを魂の旅へと
誘います。

小さな春の祈り



Hoshino
Masamichi



2017年5月15日(月)
17:30~19:00 〈17:00開場〉

京都ノートルダム女子大学

NDホール

〔予約不要
入場無料〕

主催/京都ノートルダム女子大学、京都ノートルダム女子大学 カトリック教育センター

後援/京都新聞

お問い合わせ

京都ノートルダム女子大学 カトリック教育センター
京都ノートルダム女子大学 研究・情報推進課
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地

075-706-3764
075-706-3789

<http://www.notredame.ac.jp/>

小さな春の祈り

——おはなしとピアノ演奏を通して——



星野正道 神父

Hoshino Masamichi

音楽と名もない人々によって紡がれた祈りの言葉を味わいながら、かけがえのない、やり直すことのできない一人ひとりの魂の旅の深さを再発見する時間を共有したいと願っている。

音楽や祈りの言葉には制作者の思いをはるかに越えた彼方からの霊的本質が潜んでいる。それはささやかな私たちの人生の歩みにも言えることである。私たちは自分の人生設計を打ち立てたり夢見たりしながら人生を出発させるが、さまざまな出来事に遭遇しながらその進路を変更したり挫折せざるを得ないことも多々ある。それはこの30年間くらい世界を席卷してきたグローバリズム的に言えば勝利ではなく敗北であり、自己責任ということになる。しかしそれを人生という流れの中に移しかえて「生かされて生きる」という地平から透視してみると、もしかして事態はまた別の光を投げかけ来る可能性もある。

自然環境や人間環境からのさまざまな叫びが聞こえてくる今日この頃である。今から約160年前、ネイティブインディアン人のシャトル酋長はその手紙の中で次のように書いている。「我々は知っています。すべての存在は結び合っていることを。血が一つの家族を結ぶように、そのように結び合っていることを。人間が命の織物を織ったのではありません。彼はただその織物の中の一本のよりーにしかすぎません」。だから龍村仁監督ガイアシンフォニー第6番に出演した女性ピアニストのケリー・ヨストが私たちを励ましていてくれる。

「小さな一人ひとりが、自分にできることを精一杯やっていると、それが自然に響き合って、いつの間にか大きな力になってゆく。自然とはそういうものなのではないでしょうか。私は何も特別な存在ではないのです」。人はだれも特別な存在ではない、だからこそ人は自分を越えている。こうしたキリスト教的な地平を祈りと共に共有できたらと願っている。

ピアノ演奏曲目 J.S. バッハ作曲 『アリオーソ』

『平均律ピアノ曲集I第1番プレリュード』

アンドレ・ギャニオ作曲 『セピア色の写真』

『愛につつまれて』

『小さな春』 など

●PROFILE●

星野正道 (ほしの まさみち)

国立音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業、聖アントニオ神学院卒業。

現在、白百合女子大学カトリック教育センター教授・主任、白百合女子大学全学教養教育連絡会議主事、白百合女子大学キリスト教文化研究所所長、カトリック東京大司教区本部協力司祭。

[専門分野]

霊性神学、キリスト教学、音楽の霊性、奉獻生活者・青年・信徒の黙想指導。

[主な研究業績]

著書：『崩壊の時代に射す光』オリエンス宗教研究所発行、『命への答え』オリエンス宗教研究所発行。

演奏会「星野正道スローコンサート」：長野県川上村文化センター、御殿場神山複生病院などで開催。

